

ユーザーレポート

User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

株式会社戸田運輸

70年の伝統と革新 デジタル時代の持続可能な輸送

1955年に千歳市で創業し、70年にわたり地域に根ざした企業として成長してきました。主に一般貨物運送を手がけ、人材育成を重視した質の高い輸送体制の構築に注力しています。また、車両の入替サイクルの促進により故障トラブルを低減し、常に輸送技術の革新と物流の効率化を追求しており、お客様の財産と信頼をはこぶ企業として、高い倫理観のもと「安全」「確実」「迅速」をモットーに、様々なお客様のニーズに応える高品質な物流サービスを提供しています。地域社会との共生を大切にしながら、北海道の物流を支える重要な役割を果たしている企業です。

ご利用機器



製品導入による 不安を払拭し、 効果・感想 スムーズに定着した現場運用

ドライバーの高齢化が進む中で、複雑な機器操作に対応できるかという不安がありました。また、対面点呼という安全上重要な業務をシステムやロボットに任せることへの抵抗感もあり、現場での受け入れや安全性の担保に課題を感じていました。さらに、点呼業務は紙や口頭による運用が中心であり、記録のばらつきや確認漏れが発生しやすく、管理者の経験や判断に依存する場面も少なくありませんでした。そのため、業務の属人化や管理負担の増加が課題となっていました。タブレットによる直感的な操作性により、高齢ドライバーでも問題なく運用できており、現場への負担も少なくスムーズに定着しています。

また、体温や血圧の測定機能によりドライバーの健康状態を可視化できるようになり、これまで測定習慣のなかったドライバーも日々の数値変化を意識するようになるなど、健康意識の向上につながっています。さらに、点呼業務のデジタル化により、点呼内容の標準化および記録精度の向上が実現しました。紙や口頭に依存していた運用から脱却し、管理者の業務負担の軽減および属人化の解消にもつながっています。結果として、現場・管理・経営すべてにメリットがある取り組みとなりました。

導入のきっかけ 安全性重視の選定基準

業務前自動点呼の正式解禁を受け、当社では複数の自動点呼システムの情報収集を行い、導入検討を進めました。各社から提案を受けの中で、価格面では他社が条件調整に応じる場面もありましたが、当社が最も重視したのは、アルコールチェックの確実性、処理スピード、機器の耐久性、そして導入後のサポート体制でした。

一方で、対面点呼という重要な安全業務をシステム化することへの懸念もあり、安全性を何より重視する経営陣の理解を得るため、東海電子の担当者様と相談を重ねました。その中で、実機デモや運用イメージの共有、長期的なコストメリットの説明を通じて、段階的に理解を深めていきました。

従来から東海電子製品を使用してきた実績もあり、最終的には現場での信頼性とサポート体制を評価し、導入を決定しました。導入費用は当社の想定より高いものでしたが、月々のランニングコストは抑えられており、長期的に見ても投資価値の高い選択であったと感じています。

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。



操作性について (管理者) 管理業務の負担軽減と迅速対応

管理者側の操作は非常にシンプルで、点呼結果や測定データが自動で記録・蓄積されるため、確認業務が効率化されました。従来は紙や口頭に頼っていた点呼記録も、デジタル化により一元管理が可能となり、確認漏れや記録ミスの防止につながっています。また、異常値の検知や履歴の検索も容易で、日々の管理業務の負担軽減と迅速な対応が実現しました。

ユーザーレポート

ユーザーレポート

— 0の証明 —

株式会社戸田運輸

操作性について
(ドライバー)

直感的な操作で高齢者も安心

ドライバーは主にタブレット操作が中心で、画面の案内に従って進めるだけの直感的な操作性が特徴です。複雑な入力作業がなく、高齢ドライバーでも迷うことなく使用できています。また、点呼ロボットとのやり取りにより、対面に近い感覚で点呼を受けられる点も安心感につながっています。導入当初の不安もすぐに解消され、現在ではスムーズに運用されています。



安全への
取り組み

総合的な安全意識向上への 取り組み

当社ではアルコール検知器の使用に加え、安全意識向上のための取り組みを継続的に実施しています。毎月、事故防止教材の映像活用した社内安全教育を行い、具体的な事例をもとに危険予知トレーニングを実施しています。

また、ドライバーで班体制を設け、班会議を定期的で開催することで、現場の課題や注意点を共有しています。さらに、ヒヤリハット事例を随時共有し、再発防止に努めています。

独自の活動

安全教育と健康・環境への配慮

当社では安全・健康・環境の3つの観点から独自の取り組みを行っています。安全面では事故防止教材を活用した教育やヒヤリハットの共有を徹底しています。健康面では点呼時のバイタル測定により体調管理意識の向上を図っています。環境面ではトラックと長距離船舶を組み合わせた輸送により走行距離を最短化し、物流の2024年問題の対応や排気ガスの削減、省エネルギー、交通渋滞の緩和など、持続可能な環境負荷低減にも取り組んでいます。

今後の展望

70年の実績を活かした 今後の展開

今後はデジタル技術を活用した運行管理の高度化と業務効率化を推進し、より安全で持続可能な物流体制の構築を目指します。また、人材育成にも引き続き注力し、経験とデータを融合させた質の高い輸送サービスを提供していきます。北海道千歳市で創業以来70年の歴史で培ったネットワークと技術を活かし、「北海道から全国へ」、お客様に最適な輸送モードをご提供してまいります。

東海電子
への要望

業務効率化と人件費削減の可能性

当社は北海道～本州間の運行比率が高く、ドライバーが営業所以外で点呼を受けるケースが多いことから、業務前・業務後自動点呼に対応したモバイル型自動点呼システムの併用を検討しています。モバイル型自動点呼システムの導入により、中間点呼や紙による運行指示書が不要となり、点呼対応や書類作成にかかる負担の軽減、業務効率化や人件費削減が期待できます。こうした背景を踏まえ、ぜひ東海電子様には、本機能の開発について前向きにご検討いただければ幸いです。

検討中の
企業様へ

自動点呼導入の多面的メリット

自動点呼の導入は、単なる業務効率化にとどまらず、安全性の向上や業務の標準化にも大きく寄与する取り組みだと感じています。導入前は不安もありましたが、実際に運用してみると現場への負担も少なく、想像以上にスムーズに定着しました。

東海電子担当者様の丁寧な説明や迅速な対応もあり、安心して導入を進めることができました。検討中の事業者様におかれましては、まずは小規模でも導入し、効果を実感されることをおすすめいたします。

取材ご協力

株式会社戸田運輸

主任 戸田 純平 様

住所：〒066-0077 北海道千歳市上長都1039番地

URL: <https://todaunyu-co.jp/>

